

令和7年度兵庫県日赤有功会 親睦交流会にて大阪・関西万博を訪問

5月27日、兵庫県日赤有功会の親睦交流会を開催しました。

この日は、兵庫県日赤有功会結成60周年にあたる記念すべき日でもあり、大変意義深い一日となりました。

兵庫県日赤有功会は、昭和40年(1965年)5月27日に、赤十字の掲げる人道的使命の普及、社会福祉の向上、そして世界平和への貢献を目的として結成されました。以来60年にわたり、日本赤十字社兵庫県支部の活動を力強く支えていただいております。

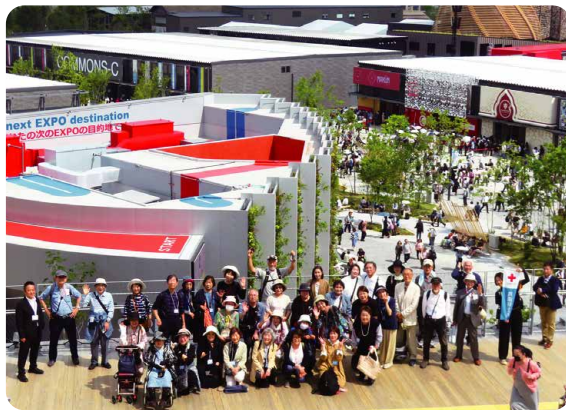
このような節目の日に行われた今回の親睦交流会には、有功会員の皆様をはじめ、そのご家族やご友人を含めた計37名にご参加いただきました。

当日はまず、ヒルトン大阪にて和やかな雰囲気の中、昼食を共にし、顔を合わせる機会の少ない会員同士が、親睦を深めるひとときとなりました。

午後からは、大阪・関西万博を訪問し、赤十字が出展している「国際赤十字・赤新月運動館」等を見学しました。本パビリオンに、兵庫県内から毎日3名のスタッフを派遣しており、当日は桑田有功会会長が現地のスタッフを労い、激励の言葉をかけられました。

今回の親睦交流会は、「赤十字の理念や活動をより深く知っていただくこと」や「万博を通じて赤十字の国際的な取り組みを実感していただくこと」等を目的に企画されたものであり、赤十字の活動が世界中で展開されていることを改めて知る機会となり、参加者にとっても、赤十字への理解と関心を一層深めていただけたのではないのでしょうか。

桑田有功会会長からは、「世界の人道危機や自然災害に苦しむ人々を救いたいという強い思いで活動されていることが、非常によくわかりました。」との言葉があり、参加者からも「赤十字の皆さんの熱意に胸を打たれました。改めて、これからも赤十字の活動を応援していきたいと感じました。」との感想が寄せられました。



▲大屋根リングでの集合写真



▲兵庫県支部職員から説明を受ける桑田有功会会長

結成60周年を迎える兵庫県日赤有功会の事業をご紹介します！

有功会の支援事業

(1) 姫路赤十字看護専門学校生に対する支援
卒業生に記念品を贈呈



(2) 青少年育成活動に対する支援
青少年赤十字メンバー・指導者への研修参加費用助成



(3) 血液事業に対する支援
献血推進のため、献血者への記念品や献血ルームの備品を整備



日本赤十字社兵庫県支部に対する協力事業

(1) 仲間づくり運動の実施
お知り合いやご友人に、赤十字活動を広く周知し、有功会への加入を促進



(2) 「NHK海外たすけあい」キャンペーンへの協力
毎年12月1日～25日まで実施されるキャンペーンへの協力



震災と未来のこうべ博に出展しました

阪神・淡路大震災の記憶を継承し、災害に対する意識を高めてもらおうと、神戸市が企画した防災イベント「震災と未来のこうべ博」が4月26日・27日に開催されました。当支部はメリケンパーク会場に出展し、災害救援車両や救援物資を展示するとともに、「ハートラちゃんと物資を届けよう!〜ワクワク釣りゲーム〜」と「オリジナル缶マグネットを作ろう!」を開催し、来場した多くの子どもたちが楽しんで防災や赤十字に触れられる機会となりました。



講習会のご案内 対面での講習会のご案内

救急法基礎講習 (1日の講習)	7月27日(日) 13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 8月30日(土) 13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法救急員養成講習 (2日間の講習)	8月16日(土)・17日(日) 9:30～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(兵庫県三木市)
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	7月19日(土)・20日(日)・21日(月・祝) 9:30～17:30 (初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 8月31日(日)・9月6日(土)・7日(日) 9:30～17:30 (初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	8月23日(土)・24日(日) 9:30～17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

講習内容	開催日	時間
【健康生活支援講習】ちょっと知ってみたい。認知症☆	7月10日(木)	10:30～11:30
【救急法】あなたは大切な人を救えますか?(一次救命処置)	7月10日(木)	14:00～15:00
【救急法】知っておきたい!急病・手当の基本☆	7月30日(水)	10:30～11:30
【幼児安全法】こどもにAEDって使えるの?(乳幼児の一次救命処置)	7月30日(水)	14:00～15:00
【防災セミナー】災害への備え(地震編)☆	8月21日(木)	10:30～11:30
【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして☆	8月21日(木)	14:00～15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。企業や各種団体でもオンライン講習にお申込みいただけます。上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認ください。お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課) まで

講習に関するお問い合わせ	Tel.078-241-1499
ホームページ(講習のページ)	https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/

遺言・相続財産・お香典等のご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課) まで

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 7月号 [2025年7月1日発行]

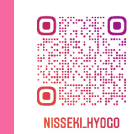
Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

ひょうごの 赤十字+

2025
7

■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>

Instagram



facebook



いのちと健康を守る活動へのご協力に感謝いたします。



- 赤十字運動月間へのご協力ありがとうございました！
- 災害に備え、赤十字救護班の研修・訓練を実施
- 令和7年度姫路市地区赤十字のつどいを開催
- 救急医薬品を兵庫県警察へ寄託
- 令和7年度兵庫県日赤有功会 親睦交流会にて大阪・関西万博を訪問
- 震災と未来のこうべ博に出展しました



国際赤十字・赤新月運動館
大阪・関西万博で出展中!
開幕後9週間で
累計来館者9万人突破!

赤十字運動月間

赤十字運動月間へのご協力ありがとうございました！

5月の赤十字運動月間では、赤十字活動をPRするために、全国各地において様々なイベントやキャンペーンを行っています。兵庫県支部では、神戸まつりおまつりパレードへの参加、レッドライトアッププロジェクトの実施等を行い、東京での全国赤十字大会にも参加しました。

・令和7年全国赤十字大会

5月13日、「令和7年全国赤十字大会」が、明治神宮会館（東京都渋谷区）にて開催され、赤十字活動に功績のあった個人や法人に対し、日本赤十字社名誉総裁である皇后陛下から有功章が授与されました。会場には、全国の会員やボランティアの代表約1400人が集結し、兵庫県支部からは有功会員、奉仕団員、地区職員など35名が参加し、交流を深めました。

今年は株式会社播磨産業の桂田重信氏（兵庫県日赤有功会副会長）が受章者代表として壇上で金色有功章を受章されました。（表紙写真）



・神戸まつり「おまつりパレード」

5月18日、第52回神戸まつりおまつりパレードに参加し、赤十字活動への支援を呼びかけました。心配していた前日からの雨は上がり、姫路赤十字看護専門学校（姫路市）の学生や赤十字奉仕団員など約60名が赤十字車両や大きな赤十字バルーンとともに笑顔で行進しました。



多くのご声援をいただきありがとうございました！

・レッドライトアッププロジェクト

国際赤十字の創設者アンリー・デュナンの誕生日「世界赤十字デー（5月8日）」を中心に、全国のランドマーク施設や歴史的建造物を赤十字のシンボルカラーである赤い光で照らすプロジェクトです。今年は全国86施設で実施され、兵庫県では明石海峡大橋と人と防災未来センターでライトアップを行いました。ライトアップが人間のいのちと健康、尊厳を守る「人道」について、皆様に理解を深めていただくきっかけになればと願っております。



災害に備え、赤十字救護班の研修・訓練を実施

兵庫県支部では、毎年5月に県内の赤十字病院および血液センターにて、赤十字救護員の辞令交付を行いました。今年度は、309名の救護員が登録されています。

5月24日・25日には、三木市の日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センターで「救護班要員研修」を実施し、延べ155名が参加しました。この研修は日赤全体で統一された救護員育成体系に基づくものとして、今年度から新たに2日間のプログラムとして実施しています。

1日目は、日赤の災害救護の概要や法的根拠、救護体制の仕組み、トリアージやこころのケアなど、救護活動に必要な知識を体系的に学びました。2日目は、避難所での活動を想定した演習を通じて、班としての行動の重要性を体験。さらに、衛星電話や無線通信、救護テントの設営など、実践的な資機材の取り扱いも学び、実践に即した充実した内容となりました。

また、研修には県関係者や保健所、他機関の職員も多数見学に訪れ、日赤の救護研修の取り組みを広く発信するとともに、関係機関との連携強化にもつながりました。

6月7日には、大阪府高槻市の高槻赤十字病院および周辺施設を会場に、「第4ブロック（近畿2府4県）合同災害救護訓練」が開催されました。第4ブロックから計14班の救護班が参加し、兵庫県からは姫路、多可、神戸の各赤十字病院から1班ずつが参加。姫路赤十字看護専門学校の学生も、傷病者役として協力しました。

訓練では、救護所での診療や後送調整、避難所でのこころのケアや環境アセスメントなど、実際の災害を想定した活動を展開。また、支部災害対策本部や医療圏本部を設置し、災害医療を熟知したコーディネートチーム（CoT）や第4ブロック各支部から応援に駆け付けた支部職員が情報収集や関係機関との連携を意識した訓練も実施しました。兵庫県支部および管内病院からは訓練コントローラーとしても参画し、訓練全体の円滑な運営に貢献しました。

さらに、赤十字防災ボランティアや兵庫県無線赤十字奉仕団も、ボランティアセンターの運営や物資搬送、無線局の開設訓練に参加し、災害時の対応を確認しました。

兵庫県支部では、救護員が継続的に研修や訓練を重ねることで、災害対応力の向上を図り、災害時に行動できるよう備えています。



▲赤十字救護員辞令交付式



▲トリアージについて学ぶ救護班要員



▲近畿2府4県から集まった救護班



▲現場救護所での医療救護活動



▲災害対策本部で情報収集等を行う各支部職員

令和7年度姫路市地区赤十字のつどいを開催

5月9日、イーグレひめじ あいめっせホールで「令和7年度姫路市地区赤十字のつどい」が開催されました。

姫路市赤十字奉仕団員35名による赤十字奉仕団信条の朗読、姫路市地区長、姫路市赤十字奉仕団委員長、兵庫県支部事務局長の開会挨拶のあと、令和6年度の兵庫県支部の活動を振り返る「ひょうごの赤十字 この1年」の動画と、兵庫県立姫路商業高校地域創生部が開発した、災害時でも美味しく食べられる災害食『ふわ姫パン』の紹介動画を視聴しました。

研修の部では「災害時における身近なものの活用方法」として、風呂敷や新聞紙を使ったプログラムを実施しました。周囲の人たちと協力して取り組むことで、改めて共助の大切さを感じた一日でした。



救急医薬品を兵庫県警察へ寄託

～県民の皆さまの安全安心な暮らしのために～

5月30日、県民の皆さまの安全安心な暮らしのために役立てていただこうと、県内の交番・警察施設へ救急医薬品の配置について、兵庫県警察に寄託しました。

兵庫県支部が昭和33年度から始めた救急箱の寄託により、昨年度は93件の交通事故やケガなどの応急手当に役立っており、利用者からも感謝の声をいただいております。

委託式では生安事務局長から兵庫県警察の栢野地域部長に救急医薬品セットが手渡されました。栢野地域部長は「地域の安全のよりどころになっている交番や駐在所で、救助の重要なツールとして有効に活用していきたい」と話しました。



▲救急医薬品681セット、救急靴30個を委託



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。